



苦小牧工高  
関東六華会

# 会報

第3号

発行責任者 川上 毅  
編集 藤 弘 嘉 夫 時  
斉藤 木谷 藤田

関東六華会の皆様へ



同窓会本部幹事長  
紺屋 隆(機械科三十六年卒)

関東六華会の川上会長はじめ、役員並びに会員の皆様には日ごろより温かなご支援・ご協力をいただいております。衷心より厚くお礼申し上げます。

平成十五年に従来の東京支部を改めて関東一円に在住する同窓生千六百名に及ぶ大きな組織として再出発しました。新役員の方決定、会員のデータベース化、総会の準備等、発足に当り大変なエネルギーを要したと思っております。このことに対して深く感謝を申し上げます。

さて、私ここで恐縮ですが、苦工三年生時の三十五年十一月に就職試験の為に旭川に行きました。試験二日目の朝、バスを降りる際に千円札を出したところ、運転手にお釣りが無いと言われ困惑しておりました。そこへ中年の男性が来て、「君、苦工生か、帽章を見て。私も苦工卒業生だよ、これを使いなさい。」といってバス代を渡されました。

入社二年後、都合により退社することになりましたが、先輩が突然来られ「力になつてやれたのに、どうして相談してくれなかった。このままでは母校の先生に叱られる。」と困った顔でいわれ、同窓会支部から餞別をいただきました。

この時、苦工同窓生の絆の強さを知り、驚きよりもショックに近いものを感じました。考えてみますと、就職前から苦工同窓生の絆の強さを教え込まれてきたような気がします。今日あるのも苦工と苦工同窓会のお蔭であり、機会があれば少しでも恩返しをしたいと思っております。縁あって母校に勤め、更に同窓会事務局の重要な仕事をさせていただいており、恩返しどころか、最後までお世話になることになりました。今でも母校生徒に差し入れ等をしている熱心なOBもいます。母校愛・苦工魂は先輩が見本を示し、教えて行くものと感じております。その意味でも関東六華会の存続と活動は重要な意義をもっていると思えます。関東六華会の益々の発展と会員皆様のご健勝をお祈り申し上げます。

苦工入学から社会活動迄の四十五年

土木科三十九年卒 石堂 鉄雄  
(千葉県在住)

関東六華会の事務局から会報に記載する原稿の依頼があり、本年三月で定年と還暦をむかえましたので当方の思い出をふりかえってみました。

### ◇苦工入学の経緯

住いは恵庭市(恵庭町が合併)出身で経済的に大学進学は無理なので職業人としての自立を検討して札工が苦工に入りたい意思があつたが親父から「お前は人に流されやすいので札幌に行く」と悪になるからその反対の苦工に行け」として、土木科を選択しなさい」と半ば強制的に決められ、苦工に入学することになった。今思い起こすと親父に先見性があつたと感謝しています。

### ◇苦工時代と恩師

苦工時代の思い出は沢山あるので、かいつまんで書きます。担任は国語の中原順雄先生で三年間大変お世話になりました。色々問題もありましたが先生のお陰でクラス全員がめでたく卒業することができました。クラス会は二年に一度、苦小牧が札幌在住の方々が交代で幹事をしてくれて、今年も二月に鶴川町の道の駅(第三セクター)で経営するクラスメイトの中道光治社長)の「四季の風」で開催された。

還暦のクラス会なので、なんと中原先生が参加者全員に赤いちやんちゃんを作って頂き、全員で記念撮影されたことは人生の大きな節目に思い出が残り、非常に感激深く感無量のクラス会でした。

お世話になった中原先生は七十三歳になりましたが非常に若く、毎回のクラス会に参加されておりですが中原先生との思い出のひとつに在学一年生の時に書いた作文集を持参されて参加者が拝見した時はジーンと熱くなるのをおぼえ、先生は卒業してもクラスの面々をあたたく身守ってくれていることに感動しました。就職指導の時には官庁関係に行きたいとお願ひしましたら「君は絶対業者向きだから業者を受けて見なさい」とアドバイスがあり、五月の末には鉄建建設(株)に受験して、六月はじめには合格の通知を受け取りました。官庁の受験を選択肢からはずして指導頂いた先見性に改めて感謝しています。

### ◇就職先の将来を語る妻との夢

入社後札幌支店六年、東京支店二十七年、東関東支店九年在籍して土木関係を二十一年、営業関係二十一年勤務致しましたが結婚当時には女房と定年迄に一度は現場の所長になりたいと小さな夢を語っていたが二十九歳の時に大きな現場の所長になり、苦労もありました。

何箇所かの現場の責任者を体験し、高度成長の波にのつた時期でもあり、今では楽しい仕事の思い出となり財産になっています。

◇千葉在住と支部に関して  
昭和六十一年仕事の関係で電気科三十七年卒の加賀谷先輩の出会いで六十二年に千葉県会議員に先輩が立候補されるといふ事で苦工同窓生有志が連絡を取り合い党派を超えて苦工同窓生として一致団結して応援をしながら大いに盛り上がり結果は見事にトツプ当選された。今は五期目になります。千葉の皆さんが活躍に期待をされています。その選挙のきっかけで当時の千葉県在住の苦工同窓生を知り千葉支部を発足してその幹事役で支部総会、懇親会を開催運営して尽力をつくしましたが、東京支部連合会が「関東六華会」として再発足したのを機会に有志と相談した上で千葉支部を「閉じる」とになりましたが千葉県の皆様には長い間お世話になりましたがとうございました。

又、本部や関東六華会にもお世話になり深く感謝致しております。千葉の皆さんには千葉支部を閉じたことに対してお怒り方がおられるかと思いますが大きな流れの中で以前の様な盛り上げを関東六華会に参加して楽しい会にしようではありませんか。再会を期待しております。

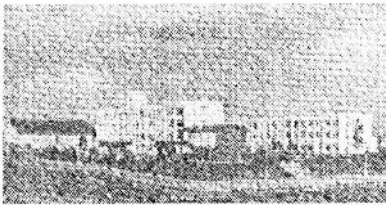
◇還暦、定年後の第二の人生について  
三月に還暦、定年をむかえましたが幸いにも会社から三年間の再雇用契約を頂きましたので今迄通りの東関東支店に勤務になりました。

人生で思うことは神が与えてくれた人生という長丁場を健康に留意して精一杯生きていこうと思います。人生には大きく三つの時の区分があるといます。還暦を迎えた「現在」、「研鑽の時」、「実現の時」を終え、まだやりたいことは色々あります。

これからは「奉仕の時」を迎えるにあたり、今迄 以上に  
感謝の気持ちを持つ  
感動する心を育む

社会の為に少しでもお返しをする  
との気持ちを持って今後の人生を楽しく送りたいと思っております。同窓生の皆様これからもどうぞよろしくお願い致します。

苦工校舎



二〇〇五年度の関東六華会総会が

開催されました。

二〇〇五年五月二十一日(土)十五時から新宿駅西口の近くワイズで開催された。

二〇〇四年迄秋に開催してたのを今回から春に変更した関係もありますが今年も旧友の絆を暖める為に準備をして当日を迎える。今回は在学中気になった？

東京の苦工校前会支部長の遠藤氏が特別参加されてのスタートをした。

川上会長、岩本本部長の挨拶幹事長の紺屋氏の乾杯で何時になく語らいの輪があちらこちらで大きくなりヴォルテージもヒート気味で恒例になりました様子  
ライブとカラオケタイムで楽しく歌いながら諸先輩達との話しに弾みずいて、アット  
いうまに予定の時間が来た為、次回の再会を約束してお開きとなった。



遠藤慎治(建築18年卒)氏  
関東六華会顧問の乾杯

「注意とご案内」

総会は初夏に変更！

二〇〇六年度の関東六華会の総会は会場の手配関係で七月 一日(土)に開催されますが詳細は別紙をご参照下さい。



会員情報たより

同窓会のご案内で各位から頂いた情報をお知らせするコーナーですが別紙記載致しましたのでご覧下さい。

編集後記

二〇〇五年度はBSEの問題や耐震偽装事件でマンションや建築の構造に関する信用が心配、交通ではよもやのJR福知山脱線事故で尊い命が犠牲になって暗いニュースがあつたが一方宮里藍・北田ゴルフW杯優勝、ロッテ日本一、旭青龍七連覇、駒苦小牧連覇と明るい内容もあつたがまたまた、偽メール事件で国会が空転して〇六年がどんな年になりますか心配の種です。会員皆さんの健康をご祈念しております。